

研究主題 「わたしメッセージ」で児童生徒に認識をもたらす道徳授業の試み

中学校 第1学年A組 道徳学習指導案

1 主題名

生き物を飼う時は責任を持ち、命を大切にする
 中学校3-(2), 4-(2) 命の大切さを感じ、命を守るために法を遵守する

2 資料名

「放し飼いにしたラック」 出典

3 この資料でもたらしたい認識

- 次の①～③を認識させる
- ①ペットを飼う際に、深く責任をとることを考えずに飼う傾向がある。
 - ②考えずに飼い始める傾向があるため最後まで面倒を見ない飼い主が多数おり、ペットが犠牲になっている。
 - ③ペットが犠牲にならないために、責任をもって飼う。

4 資料を選んだ理由

家庭訪問を行った時、多くの家でペットを飼っていたことが印象に残っている。子供が飼いたいと言い出したことがきっかけになり、家庭でなにがしかの生き物を飼うことはよくある。実際に学級でアンケートをとってみると、38人中実に34人が、現在飼っているもしくは過去に飼っていたことがあると答えた。この結果をみても、生き物を飼うことはとても身近であることがわかる。その割に世話を続けているのは子供本人ではないことも、またよくあるケースである。アンケートでも、自分で全責任を負っている生徒はいない。またそのことに対して、何の疑問もなく過ごしているようである。このままの感覚で成長していくことは、決して良いこととは思えない。この機会に、飼い主が責任を持たなくなった生き物、特に身近な犬や猫がどうなるかを知らせることが必要だと思われる。生き物を飼うことがいとも簡単にできることに比べると、飼い主が責任を持たなくなった生き物の行く末は、あまりに知られていない。殺処分という現実を明確にすることにより、飼い主の持つべき責任をしっかりとらえさせたい。さらに、殺処分に直接関わらなければならない人がいることにも気づかせ、その苦しみもあることを理解させたいと思う。飼い主が責任を持たないことにより、生き物の命と同時に、他の人にも言いようのない辛さをあじわせていることをとらえさせたい。一度飼うことになったら生き物に対して持つべき責任がどんなものかを理解させ、命を尊重する態度を身につけさせたいと思う。

この資料は

- 生き物を飼っている家庭にとっては、ありうる問題と状況設定の資料である。
- 保健所の実態を伝える糸口となる資料で、社会の問題となっていることを認識させられる。
- 保健所と、そこに捕らわれた動物のことを知ることが、責任のない飼い方がもたらすものの認識につながる。
- 保健所の殺処分に関わる人の気持ちを知り、携わる苦しみを理解することにより、責任のない飼い方がもたらす影響を認識する。
- 様々な認識をすることにより、自身の問題として考えるきっかけとなる。

ペットが担う役割の変化も考えながら、身近にある命を取りまく現状を理解させ、責任をもつことと命の大切さを感じとらせたいと思う。

5 本時のねらい

生き物を飼う時の責任を意識し、命を尊重する態度を身につけさせる。

6 日時

平成17年 10月19日(水) 5校時
 1年A組教室において

7 準備

- ・生徒 資料「放し飼いにしたラック」プリント、ワークシート、イラスト
- ・教師 シート、資料

8 展開

		学習活動	教師の支援	時
展開	導入	1 教師の「わたしメッセージ1」を聞き学習のめあてをつかむ。	◎わたしメッセージ1 「わたしメッセージ」で何を認識させようとするかを語る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・猫を車ではねてケガをさせたことが今でも記憶に残っていることを話す ・生き物を飼う時にとるべき責任とはどんなものかしっかり理解し、実行してほしいという思い ・アンケートの結果でもほとんどの人が飼っている </div>	5
	教える	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】 生き物を飼う時は責任をもち、命を大切にしよう</p> </div> 2 資料「放し飼いにしたラック」を読んで話し合う。 (1) 教師の範読を聞く。 (2) 話の内容を振り返る。 ①何と言って飼い始めたか ・責任を持つ ②ラックをどうしていたか ・散歩に連れていく ③散歩に連れていかなくなったのはなぜか ・自分が疲れている ・人間の都合 ④問題を解決するためにどうしたか ・放し飼い ⑤その結果ラックはどうなったか ・保健所につかまった (3) 教師のわたしメッセージ2・3を聞く	◎わたしメッセージ2 認識のための事実の確認 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の変えられない性質を自分の都合で軽んじている </div>	10
終末	考える	3 今日の学習でわかったことを発表する。	◎わたしメッセージ3 認識のための事実の提示と、なぜ認識をもってもらおうと思ったかを語る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・法律で定められている ・年間 どのくらい殺されているか ・何日で処分されるか ・どのように処分されるか ・福岡は処分数ワースト1 ・保健所の人の思い </div>	15
	終末	4 友達の発表を聞いてわかったことを書き、発表する。	極少数ではあるが、新しい飼い主にもらわれて生きながらえる犬や猫がいることを伝える。	10
		4 友達の発表を聞いてわかったことを書き、発表する。	責任をもつことが人間とペットとの幸せな関係をはぐくむことになることを伝える。	10